

### 株式会社イノPとソラシドエアが包括的連携協定を締結 熊本県宇土半島に「ソラシドエコファーム」を開園しました!!

= ソラシドエア就航 20 周年記念事業 =

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、2023年5月21日(日)、株式会社イノP(本社:熊本県宇城市 代表取締役:宮川 将人)とそれぞれの資源や機能などの活用を図りながら幅広い分野で相互に協力し、地域の発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結しました。その一環として、熊本県宇城市三角町(宇土半島)に「ソラシドエコファーム」を開園しました。



(左)株式会社イノP 代表取締役 宮川 将人  
(右)株式会社ソラシドエア 代表取締役社長 高橋 宏輔



地域の方々とソラシドエア社員

「ソラシドエコファーム」は、ソラシドエアがメインスポンサーを務める移住マッチングイベント「九州移住ドラフト会議(主催:九州地域間連携推進機構株式会社)」の過去の参加球団(地域)を対象に、ソラシドエア就航 20 周年記念のコラボ企画として募集した「ソラシドエアと一緒に実現したい企画」の中で株式会社イノPが提案したプロジェクトです。今回このプロジェクトが採択され、ソラシドエア就航20周年記念事業のひとつとして実現が決定しました。

熊本県宇城市三角町(宇土半島)ではイノシシによる農作物への被害が課題となっており、地元の若手農家が自ら立ち上がり「くまもと☆農家ハンター」としてイノシシの駆除を行っています。捕獲されたイノシシは解体され、食肉(ジビエ)に加工されるほか、内臓や食肉に不向きな個体は、堆肥加工され無駄なく活用されています。

今回「ソラシドエコファーム」として開園した土地は、鳥獣被害によって耕作放棄地となっていた畑を再生した場所であり、イノシシ由来の堆肥を使用しています。「ソラシドエコファーム」は農地再生のシンボリックな場所として、両社共同でサツマイモやウモロコシを栽培します。また、訪れた人が笑顔になれるよう、ソラシドエアの社内公募で決定した花(ペンタス・マリーゴールド・日日草)を畑の一部に植え、育てていきます。また、二酸化炭素の吸収が杉の4倍で4年~5年で木材として利用できる早生桐を植え、環境保全意識の啓発につながる地域密着型の活動に取り組んでまいります。

両社は、「ソラシドエコファーム」の運営を通じて、幅広い分野で相互に協力し、地域の発展に寄与することを目指しています。





植え付けの様子



サツマイモ・トウモロコシを定植



社内公募で選ばれた花



ジビエ(イノシシ)料理

### 【株式会社イノP 会社概要】

株式会社イノPは、「農家や地域の希望の星になりたい！」という気持ちから、熊本県内の若手農家が立ち上げた「くまもと☆農家ハンター」が母体です。IT 技術を利用した狩猟技術の確立や、ジビエ加工や堆肥化による循環型対策を進めています。鳥獣被害の軽減に貢献することで、地域に欠かせない存在として活動している団体です。また今まで活動してきた実績が認められ「生物多様性アクション大賞 2018 農林水産大臣賞」をはじめ、数々の賞を受賞されています。

ホームページ: <https://farmer-hunter.com/>



ソラシドエアは、本社を宮崎県宮崎市に構え「九州・沖縄の翼」として、おもに羽田・沖縄と九州を結ぶ路線を展開し、毎日 14 路線 80 便を運航しています。機材はボーイング 737-800 型機を揃え(14 機保有)、平均 81cm のゆとりある座席間隔(一部機材を除く)など快適な機内環境を提供しています。

ブランドプロミス“空から笑顔の種をまく。”の下、お客様のニーズに合わせたソラシドエアらしいおもてなしで、“笑顔ひろがる心地よい”サービスを追求しています。また、地域振興を目的とした地域と人を繋ぐ“つながりは無限大『九州・沖縄プロモーター』”プロジェクトなどに取り組んでいます。

▶ ソラシドエア ホームページ: <https://www.solaseedair.jp/>

